

# 危機管理の実際

## 3×3フィルター方法論

(危機管理の方法論、準備プロセス、ルート及び状況分析)

危機管理の3×3フィルターの方法は、それまでローカルな山の知識と勘と経験に頼っていたガイドの危機管理を横において、科学的にその実務を行うことを目的にスイスのガイド、ヴェルナー・ムンター (WELNER MÜNTER) によって1991年提案された。最初は、雪崩犠牲の低減をすることを目的とした戦略として提案された。

3×3のフィルター方法は、ガイドの仕事である連続する3つの段階を3つのレベルで定式化したもので行う方法である。

連続した仕事の段階とは①登山の計画準備段階②登山の実行直前の段階③実行中の3段階である。

3つのレベルは、①ヒューマンファクター②気象状況、山の状況③ルートである。

これは、日々のガイド活動中に山中でその場所に於ける評価を与え決定で終了する。3×3の決定と呼ばれるこのフィルターメソッドはガイド活動を最適化する。

### 3×3フィルタメソッドテーブル

	基準レベル1 ヒューマンファクタ	基準レベル2 気象状況 山の状態	基準レベル3 ルート
準備段階 最初のフィルタ	ガイドおよび顧客に： ●技術的、身体的、精神的な状態。 ●経験のレベル。 ●装備のリストと準備。 ●顧客の正確な希望。	●天気予報 ●目的ルートの要件については ... ●その他の情報（インターネット、避難所は、登山届けは、宿は、スキーリフトは動いているか ...）	●ルート図、写真、地図。 ●ルート、場所のガイドの知識。 ●リスクの識別とその場所について。 ●困難度の識別と評価。 ●変更時のの選択肢 ...
決定	計画は変更する必要があるか？	計画の変更か？	キャンセルか？

見本

<p>ガイド活動の開始時に第二のフィルタ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画は顧客によって受け入れられ、理解されているか？</li> <li>●身体的および精神的な顧客の状態、とガイド自身の状態は？</li> <li>●装備とその準備は予定通りか？。</li> <li>●計画の目標の最終確認は？。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●最新の天気予報を得る。：視界は？降水量は？風は？温度は？ ... 予約は？</li> <li>●別のガイドからの情報、その地域の追加情報の収集。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在の状態は目的のルート条件を満たしていますか？</li> </ul>
<p>決定</p>	<p>計画は変更する必要があるか？ あるいは、注意事項は？</p>	<p>解決策は代替？ 放棄？</p>	
<p>ガイド活動中に三番目のフィルタ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様の疲労はどうですか？</li> <li>●お客様の技術的および身体的状態は？</li> <li>●注意事項の調整：手法の選択は良いですか？（確保方法は、ロープの長さは、他）</li> <li>●他の要素は？（リズム、技術的に ...）。</li> <li>●ガイドの身体的、精神的状態はどうですか？</li> <li>●スケジュールどおりですか？</li> <li>●保護された保持領域（リレー、一時停止）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●気象条件は、上記のさまざまなレベルで、観察して条件を満たしていますか？</li> <li>●意思決定支援のツールを使用します。</li> <li>●条件や困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在地を確認してください。場合によって機器を使用します。</li> <li>●退却の可能性は？</li> </ul>
<p>決定</p>	<p>登山を継続出来ますか？</p>	<p>より多くの注意事項？ 放棄？</p>	